

報告書の記載方法等

1 院内感染発生時

(1) 院内感染状況調査書（初回報告）（様式1）

- ア FAX 送信票を兼ねていますので、別途送信票は不要です。
- イ 報告日、医療機関情報（名称、電話番号、FAX 番号）
- ウ 連絡担当者情報（氏名、職種、内線番号等）
- エ 発生事例の概要（死亡者・重篤者の発生の有無は必ず記載してください。）
- オ 病原体情報（病原体名（推定含む）、検査を実施した場合は、検体種類、検査方法、検査結果を記載してください。検査未実施の場合は、未実施を選択してください。）
- カ 「発症者」の定義（いつから、どこで、どのような症状がある者等。以降、「発症者」は、この定義を満たす者のことです。）
- キ 食中毒の可能性（感染性胃腸炎の場合、原因として食中毒の可能性はどの程度か、またそのように判断した「理由」も記載してください。）
- ク 発症者の状況（何日現在の状況かを記載。①全発症者数と内訳（患者・職員）、②発症者分布（病棟単位、病棟所属外職員）③職種別職員発症者数。記入欄が不足する場合には別紙に記載してください。）
- ケ 発症経過（集団発生を確認し対応を開始した日を起点として、発症後とさかのぼり調査の結果を記載してください。「新規発症者数」であり、「累積患者数」ではありません。）
- コ 院内感染対策委員会開催状況（今回の件に係る対策を検討するために開催した最初の院内感染対策委員会開催日、委員の出席状況を記載してください。）
- サ 院内感染対策委員会の対応方針（今回の事例に対する委員会の対応方針について記載してください。委員会の議事録の添付でも構いません。）
- シ 情報提供体制（今回実施した情報提供について、対象と内容を記載してください。）

(2) 感染性胃腸炎発生経過表（様式2）

ノロウイルス等感染性胃腸炎発生の場合に、様式1のほか様式2も提出してください。「様式2」は、発症順に発症者の経過を記載してください。

2 感染が終息したとき

院内で感染が終息し、院内全体で評価・分析を行い、今後の改善策などをとりまとめた後、「院内感染報告書（最終報告）」（様式3）により報告をお願いします。

ア 医療機関情報（名称、管理者名）

イ 調査結果の概要（原因となった病原体名、症例定義、患者発生期間、発症者数、死亡者・重症者の有無、感染が拡大した病棟等の範囲）

ウ 感染源、感染経路について（院内に病原体が持ち込まれた原因について、院内で感染が拡大した原因について）

エ 今回実施した、主な感染拡大防止策

オ 今後の対応方針（院内感染対策委員会の評価、反省点・課題について）

3 相談・報告先

- ・ 相談、報告先 : 札幌市保健所医務薬事課医療安全担当係
- ・ メールアドレス : imu@city.sapporo.jp
- ・ FAX : 011-622-5168

4 その他

- (1) 報告いただいた内容は、施設が特定されない範囲で医療施設へ情報を還元することなどにより、本市の医療安全対策事業に活用させていただきます。
- (2) 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」で全数把握とされる感染症については、同法に基づき札幌市保健所感染症総合対策課に報告するようお願いいたします。